

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進

主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進

事業番号	40	事業名	教職員への的確な研修の実施			所管課	指導室
事業の概要	固定的な男女役割分担意識にとらわれず、男女平等の意識をもって子どもへの指導に当たることができるよう、教職員に対し、経験年数や職に応じた研修を実施します。						
◆令和7年度振り返り-取組実績(DO)							
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績							
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						☒ はい ☐ いいえ	
1 人権教育の充実 学校において、教育活動全体を通じて組織的・計画的に人権教育を推進した。また、人権教育推進委員会において、男女共同参画の推進に向けた研修を実施した。 2 教職員による不適切な指導及び体罰の防止への啓発 児童生徒への指導について、児童生徒への理解を軸とした指導に当たれるよう、校長会や副校長会を通じて指導することができた。							
◆令和7年度振り返り-評価(CHECK)							
指標でみる達成状況							
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合						
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値	
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)							
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小						
今後の取組の方向	学校における人権教育の充実に向け、学校に関わる全ての教職員への研修等の充実を図り、男女共同参画の推進に向けた取組を実施する。						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)							
評価	A	評価理由	校長会や副校長会、4級職研修、若手教員研修等で必要な情報を伝達することで、校内における人権意識の醸成につなげることができた。また、人権教育推進委員会、生活指導主任会等の充実を図り、教職員の資質・能力の向上につながった。				

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進		所管課	子ども家庭センター
事業の概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
ゆりかご調布面接やもうすぐママパパ教室(母親学級・両親学級)、赤ちゃん訪問等において、パートナーの状況を確認しながら、母親の産後の身体の変化と夫婦や家族の協力の必要性について情報提供した。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%		【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	引き続き、家事や子育てに妊娠期から男性が積極的に参加できるよう、具体的な方法を提案していく。					
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	妊娠期から子育てへの父親の育児参加の意識が高くなることから、今後も、意識して具体的な協力の方法を提案していく。			

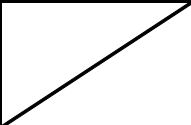
妊娠期から子育てへの父親の育児参加の意識が高くなることから、今後も、意識して具体的な協力の方法を提案していく。

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進		所管課	社会教育課
事業の概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
社会教育情報紙「コラボ」を年3回発行し、市内小・中学校や市施設にすぐるで配信するとともに、市ホームページに掲載するなど、社会教育・家庭教育に関する情報提供に努めた。 市立小・中学校PTAの企画、運営による「家庭教育セミナー」について、情報提供や積極的な事業実施を働きかけ、多様化する社会問題に対応した家庭教育支援を図るための公開セミナーの実施に係る支援を行った。 【実施校】調布市立小・中学校 3校 【参加者数】79人						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%	/ 【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	【社会教育情報紙】 引き続き、家庭教育についてのコラム等の掲載を通じて可能な範囲で男女共同参画意識の啓発につながる情報提供をしていく。 【家庭教育セミナー】 引き続き、開催テーマや内容について、助言や情報提供を行うとともに、事業実施について支援するが、セミナーの実施主体はPTAであり、男女共同参画意識の啓発につながるテーマを必ずしも取り上げるわけではない。					
						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	B	評価理由	【社会教育情報紙】 家庭教育についてのコラム等の掲載により、現代的な課題について情報提供できた。一方で、幅広い社会教育に関する記事を掲載するため、令和7年度は男女共同参画意識の啓発につながるテーマを取り上げられなかった。 【家庭教育セミナー】 家庭教育セミナーを実施するPTA開催校が減少しており啓発の機会自体が減ってきている。また、実施したPTAにおいても男女共同参画意識の啓発につながるテーマを必ずしも取り上げるわけではなく、啓発の機会を担保できない面がある。			

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	46	事業名	地域コミュニティにおける男女共同参画の促進		所管課	協働推進課
事業の概要	男女がともに参画し、協力して地域のさまざまな活動を支えていくため、自治会・地区協議会等に女性の参画推進を働きかけます。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
・地区協議会の各種会議において、男女ともに地域の課題解決に努めるとともに、市民に地域活動への参加を呼びかけた。 ・現在、地区協議会の代表者のうち1人(19地区中)のみだが、コミュニティ推進協力員については2人(4人中)の女性が就くなど、女性参画が行われている。 ・地域活動情報紙「じょいなす」及び地域コミュニティサイト「ちょみっと」にて、自治会・地区協議会等、地域コミュニティの活動を紹介し、世代・性別問わず様々な市民に、地域コミュニティへの参画を促した。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%		【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	これまでの取組を継続し、今後も男女双方の意見を取り入れながら、地域の課題解決に努める。					
						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	男女の区別なく、市民が、行政・地域のまちづくりに参加できる環境づくりに努めることができた。 また、地区協議会やコミュニティ推進連絡会において、男女双方の視点を取り入れながら、意識共有や交流を図ることができた。その結果として、女性の参画推進につながり、評価指標の目標値に近づけることができた。			

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成		所管課	総合防災安全課
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
「令和7年度調布市防災教育の日」において、市職員と地域の方々が協働で避難所開設訓練を実施した。多様な視点を取り入れるため、避難所担当職員の男女の男女比を考慮して配置を行っている。訓練のなかで、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して意見交換を行った。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	現在は、避難所や福祉避難所の開設に関する訓練を実施しているところであるが、今後、習熟度が高まってきた際には、避難所運営に関する訓練の検討を行っていく。					
						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	訓練のなかで、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して地域の方々と意見交換を行うことができた。今後、避難所運営マニュアル等の見直しを行う際には、多様な視点を取り入れらるよう工夫を行う。			

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成		所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
市民団体と協働で実施している男女共同参画推進フォーラムにおいて防災に関する講座・ワークショップを実施し、家族・親子で防災を非日常ではなく日常生活の一部の視点で考える内容で実施した。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%	【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%	
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう、引き続き、防災訓練や研修、講座等の実施を継続する。					
						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	多様な視点で防災講座を実施することで、防災について当事者意識の醸成を図るとともに、男女共同の視点をもって避難所運営等に当たることができる人材育成の一助とすることができた。			

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成		所管課	教育総務課
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
調布市では、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、東日本大震災を教訓として「命の尊さ」について学び、自助・共助意識を高め、災害時に必要な知識や行動様式を身につけるため、学校・保護者・地域の連携による防災教育と防災訓練を、調布市立小・中学校全28校一斉に実施している。 学校教育活動では、令和元年度以来5年ぶりに保護者・地域の方向けに、学校教育活動の公開を実施し、小・中学校全校及び大町スポーツ施設において実施した市統一テーマ訓練においては、訓練テーマを「避難所開設訓練」と題し、令和7年度は、能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報や、阪神・淡路大震災から30年の節目であることを踏まえ、体育館・校舎等の開設・施錠方法の確認や体育館における避難所の開設・受付訓練等、初動期における対応の習熟を目的に訓練を実施し、拡充事業として小学校4～6児童・中学校全生徒及びその保護者対象に「避難所体験」を実施した。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%	【学校】71.0% 【家庭】42.8% 【地域】59.6%		【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	災害時に女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等に留意した避難所運営ができるよう、引き続き「調布市防災教育の日」の取組のなかで、適切な避難所開設・運営について確認をする。					
						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	地域の方と市職員が男女問わず訓練に参加し、訓練についての振り返り、意見交換を行うなかで、災害時に支援が必要となる「女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等」の重要性を認識することができた。			

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題6 生活上の困難に対する支援						
事業番号	11 (再)	事業名	女性のための相談事業の充実		所管課	多様性社会・男女共同参画推進課
事業の概要	男女平等・共同参画推進の視点に立ち、生活上の困難(生活面での悩み、心・健康のこと、家庭における暴力の問題、仕事の悩みや再就職など)について、相談者自身が解決の糸口を見出せるよう相談事業の充実を図ります。					
◆令和7年度振返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					☒ はい ☐ いいえ	
1 相談事業の実施 女性の就労や相談者が多様な生き方を選択できるよう、様々な女性のための相談事業を実施した。また、グループ相談として、ひとり親を対象としたもののほか、更年期や産後の女性の心身の悩み、再就職の悩み等同じ悩みを持つ方同士が相談や意見交換できる場を提供した。 2 相談事業の充実 女性支援事業として、相談事業のチラシを同封した生理用品を希望者に配布するとともに、女性のための相談カードを各公共施設や市内商業施設等へ配架して、相談支援につながるよう周知を図った。						
◆令和7年度振返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
64.6%	66.0%	64.7%	66.0%	73.4%		70.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)						
今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小					
今後の取組の方向	相談体制の充実を図るとともに、各種相談事業へつなげていくために市内商業施設での相談案内の掲示やSNSでの周知など更なる情報発信に努めていく。					
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和7年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	各種相談とともに、様々なテーマを設けたグループ相談などの相談事業を実施した。また、電話相談や夜間の時間帯に相談を実施するなど悩みを抱える方が相談しやすいよう工夫して実施した。チラシの配布や相談カードの配架などで相談事業の周知を図った。			

基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価（令和7年度の取組及び今後の方向性）

評価	A	評価理由	各種相談とともに、様々なテーマを設けたグループ相談などの相談事業を実施した。また、電話相談や夜間の時間帯に相談を実施するなど悩みを抱える方が相談しやすいよう工夫して実施した。チラシの配布や相談カードの配架などで相談事業の周知を図った。
----	---	------	---

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進

主要課題6 生活上の困難に対する支援

事業番号	13 (再)	事業名	ひとり親家庭への支援の実施	所管課	子ども育成課
事業の概要	ひとり親の状況に応じ、自立支援に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を行います。				

◆令和7年度振返り-取組実績(DO)

「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績

●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか	☒ はい ☐ いいえ
・ 母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の親等からの相談を受け、個々の状況に応じた支援を行った。 ・ 育児・家事等、生活上の困難を抱えるひとり親家庭にホームヘルパーを派遣した。 ・ 通信制高校卒業支援給付金の支給を通して学費の負担軽減、子供の将来の展望獲得を支援した。 ・ ひとり親家庭のニーズの高い支援制度を一覧にしたりフレットを作成し、情報提供に努めた。	

◆令和7年度振り返り-評価(CHECK)

指標でみる達成状況

評価指標	ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
64.6%	66.0%	64.7%	66.0%	73.4%		70.0%

◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)

今後の方向	☒ 継続 ☐ 拡充 ☐ 縮小
今後の取組の方向	ひとり親の状況に応じ、自立に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を通じて、生活上の困難を解消につなげる。

基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価（令和7年度の実績及び今後の方向性）

評価	A	評価理由	個々の状況に合わせて社会資源や様々な情報を提供することで地域で孤立せずに生活ができるよう相談事業を実施した。子どもたちの生活環境の激変緩和のため、ホームヘルパーを派遣することで就労と育児の両立を支援し、親子ともに安心して生活できる環境を提供した。支援が必要な高校生の高校卒業資格取得を支え、自立を支援した。
----	---	------	---